

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	4372801045
法人名	社会福祉法人 綾友会
事業所名	グループホーム 桜の丘
訪問調査日	平成 21 年 2 月 5 日
評価確定日	平成 21 年 2 月 19 日
評価機関名	特定非営利活動法人 NPO くまもと

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 2月19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4372801045
法人名	社会福祉法人 綾友会
事業所名	グループホーム 桜の丘
所在地	熊本県上益城郡甲佐町西寒野1151-2 (電話) 096-234-5022

評価機関名	特定非活動法人NPOくまもと		
所在地	熊本市上通町3番15		
訪問調査日	平成21年2月5日	評価確定日	平成21年2月19日

## 【情報提供票より】(21年 1月7日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 2 月 13 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 8 人(兼務1人), 非常勤 2 人, 常勤換算 8.6 人	

### (2) 建物概要

建物構造	木 造り
	1 階建ての 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(1月 7 日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	3 名	要介護2		1 名	
要介護3	3 名	要介護4		1 名	
要介護5	1 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 86.9 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	谷田病院 なるせ歯科医院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地から少し離れた幹線道路沿いの法人施設が目印の純和風作りのホームは、広々とした敷地に菜園や多種の樹木が四季を伝え、内部も広々と清潔感がある。共有空間には大きなテーブルが設置され、調理やくつろぎの時間等、入居者の生活の様々な場面で利用されている。ホーム周辺の環境整備もされており、生活リハビリを充分に行なうことができ、身体機能低下防止に大いに役立っている。また、同一法人内に医療・介護と揃っており、入居者はもちろん家族や地域住民の安心拠点になっている。常に入居者中心の安心で安全な生活が職員のかのケアのもと保障されており、今後は更なる地域との信頼関係構築に取り組みされる事が期待される。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>重度化や終末期に対する家族の不安を軽減する為に、「ホーム3周年記念家族会」にてホームの指針を説明したり、面会時には生活状況を伝えたり、状態変化時の受診後には結果報告をする等、家族との信頼関係構築に努めている。また、日中居室でも過ごせる雰囲気作りに関しては、寒い季節時は、清掃後窓を閉め、空調調整するように改善している。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は一年の自らの振り返りの機会として捉えており、全員で取り組んでいる。評価の内容や結果を見直し、改善できているかどうかを再検討し、外部評価結果後には検討・改善へ向けて取り組む計画である。</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	<p>2ヶ月に1回開催されており、ホームの近況・活動報告等やメンバーとの意見交換がされている。メンバーに施設行事に参加していただき、ホームや認知症について、より理解してもらう機会を提供している。同系列の小規模多機能施設と合同での開催もあり、情報交換や地域密着型サービスへの取り組みを共に検討する良い機会となっている。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	<p>定期的に写真掲載のホーム便りを発行し、面会時や家族会開催時に詳細なホームでの暮らしぶりや職員の異動等について報告しており、意見や要望を出し易い雰囲気作りを努めている。運営推進会議も家族会代表により意見を聞く良い機会となっている。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>立地条件上、近隣に民家は少なく、地域住民との交流の機会は難しいものの、散歩時や隣の施設のケアハウスの住民との交流は日常的に行なわれている。地元の祭りや高校の行事に参加する等、徐々に地域住民との交流が行なわれている。今後は認知症についての介護者教室等の開催により、地域での理解や啓発が期待される。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で作り上げた「個の尊重」「利用者が真ん中」「地域とともに」という分かりやすい理念を实践するよう日々努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は目につきやすい場所に掲げており、ミーティングや勉強会、日常のケアのその時その時、理念に沿っているか職員間で確認し合っている。		
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭りや、地元の高校の行事に参加し、ボランティア部との交流をしている。地域住民の散歩の際に挨拶や立ち寄り方もおられ、交流に努めている。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が評価の目的・意義を理解しており、一年の振り返りと捉え、全員で自己評価に取り組んでいる。課題や問題点については、会議や運営推進会議等で検討し、改善に努めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ではホームの状況報告・研修報告・外部評価の結果等について報告している。メンバーから提案された意見や質問について討議し、サービス向上に繋げている。施設行事参加にてホーム生活の理解をってもらう機会を提供している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ □)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居者と共に介護申請等の手続きに役場へ出かけており、地域行事等の情報を得る機会や入居者との交流の機会としている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	定期的にホーム便りを発行し、面会時や家族会開催時に入居者の近況や職員の異動等の報告を行っている。医療機関受診後の診察結果や事故発生時には電話連絡している。金銭管理報告については定期的に送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会開催(年4回)時に話し合う機会を設けたり、面会時に意見・要望等を聞くように配慮している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者と職員の馴染みの関係を大切に考え、職員の定期異動は必要最小限に抑えている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の全体研修・月1回計画的な研修(月時研修)や、年1回職責ランクに応じた一泊研修に参加している。法人外の研修や勉強会にも積極的に参加し、報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	上益城郡内の連絡協議会の会議や研修会に参加し、情報交換やネットワークづくりに努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ □)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族と面接し今までのサービス利用状況や経緯などの情報収集を行い、ホーム見学後に入居してもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者と共に過ごす時間の中で、傍らに寄り添い、語り、傾聴しながら、互いに学び、支え合う関係であるように支援している(季節の行事や畑仕事など)。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスにより職員間で入居者の情報交換し、暮らしの希望や意向を把握し、その人らしい生活を提供できるように努めている。困難な場合は家族の協力を得て支援している。希望によりふるさと訪問も行った。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回カンファレンス、3ヶ月に1回モニタリングを職員全員で実施・共有し、担当者が中心となり介護計画を作成している。計画は、職員や本人、家族に説明している。完成後の計画はファイルし、支援経過の記録の際に確認出来るようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	半年に1回の見直しを実施し、介護計画に沿った記録の書き方の工夫を行い、次の見直し・計画作成に繋がるようにしている。入居者の状況や状態の変化があればその都度話し合い、的確な計画の作成に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ □)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や入居者の希望や要望に応じた支援を実施している。通院介助や外出、医療連携を活かした支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の他、入居前のかかりつけ医の受診の支援も実施している。送迎サービス付きの歯科受診や町外の医療機関受診は家族介助を基本とし、ホームは情報提供している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を作成しており、入居時に説明し、家族の意向は確認している。加齢による身体機能の低下、認知症状の進行による今後の状況を伝え、協力医やかかりつけ医・家族・ホームと共に、「本人にとって何が一番良いか」を話し合い共有し、支援するようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりに合わせたさりげない声かけや対応に配慮しながら、プライバシーの確保に努めている。コミュニケーションについての勉強会を実施し、職員の意識向上が図られた。記録類に関しては事務所で管理している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは決まっておらず、入居者のペースに合わせて見守りながらケアしている。希望があれば出来るだけ対応し、本人が納得するように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ □)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が入居者の希望・嗜好・季節感等を加味し献立を作成している。週二回、入居者と共に買い物に出かけ、食材選びや必要な物を購入している。調理・味付け・配膳・片付けの一連の作業は、出来る入居者のペースで共に行っている。職員も同じテーブルで同じ食事を、会話を楽しみながら摂っている。菜園の野菜が食卓に上ることも多い。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の希望や状況に応じた支援を行っている。拒否の方には時間をおいて声かけをしたりするなど、工夫をしているが無理強いはいしない。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活の中で入居者の役割や楽しみ事の支援をしている。調理の準備や片付け、洗濯物たたみ等の役割や、散歩や歌や楽器演奏、裁縫等の楽しみ事や気晴らし支援も多く、入居者全員で楽しむ時間を共有している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩・ドライブ・外食などに出かけている。環境整備がされており、隣接の施設へ散歩、鶏の餌やりや畑へ出かけたりしている。入居者の中には親戚の家に出かけるのを日課にされている方もいる。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関や居室から入居者は自由に入出入りすることが出来る。職員の見守りとセンサーも設置もされており、安全面も考慮されている。職員は研修・勉強会により身体拘束に関して理解している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、昼・夜想定の入居者参加の防災訓練を実施している。災害時の連絡網整備がされている。また、地元の消防団の週一回の巡回と年末の夜警見回りが行われている。	○	今後は救急法・応急手当などの定期的な研修が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○ □)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の嚥下能力に応じた食事形態の食事を提供している。食事の摂取量はチェックしている。水分摂取量は、必要な方のみチェックし、摂取してもらうように工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物内部は広々としており、リビングの中心に入居者と共に作業が出来る大きなテーブルの配置が特徴的である。家庭的な雰囲気や季節感を大切に装飾が施されている。至る所にくつろげる場所が確保しており、ホーム外のテーブルセットは、外気浴やお茶の時間等に利用されている。冬場の乾燥時期には洗面所に水を溜め、濡れタオルを掛ける等の湿度対策が施されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	洋室と和室の部屋があり、椅子やテーブル等が持ち込まれ、家族も過ごしやすいような雰囲気作りがされている居室もある。また、臭気対策に工夫されている居室もある。		

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
<b>I. 理念に基づく運営</b>	<b>22</b>
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	<b>10</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	<b>17</b>
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	<b>38</b>
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
<b>V. サービスの成果に関する項目</b>	<b>13</b>
<b>合計</b>	<b>100</b>

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム桜の丘
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	熊本県上益城郡甲佐町西寒野1151-2
記入者名 (管理者)	高見 芳雄
記入日	平成 21 年 1 月 12 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域へ買い物に出かける回数が増えた。また、馴染みの関係ができた。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>「利用者が真ん中」という事を意識して、日常の家事等を利用者と共に行っている。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>地域の行事へ毎年参加することで、馴染みの関係ができ、家族には、定期新聞の発送や家族会、面会時に報告している。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>犬の散歩途中に気軽に立ち寄られる方もおられる。また、隣接のケアハウスの方の散歩コースにあたり、花壇や畑の手入れに努めている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地元の方の招待でミカン狩りや、地元の祭りや高校の体育祭に参加。新たに、文化祭へ見物に行くことも出来、高校のボランティア部との交流会を開くことができた。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	昨年の隣町の災害を受けて、避難場所を提供する話が出た。	○	これまで開催してきた認知症についての介護者教室を開き、継続し地域の方に理解して頂きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善の指摘項目について、スタッフ会、運営推進会議において検討し、改善に努めている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価を公表して、意見交換を行っている。また、施設行事に参加していただき、利用者の生活の一部を見られている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居者と一緒に役場へ出かけ、連携を図っている。町の図書館での読み聞かせについての情報を得た。	○	地域密着型サービスとして何が出来るかを相談実行していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、対象者はいないが、成年後見人制度の講習会に参加している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の職員の研修会に参加している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>今年度対象者はいないが、契約の際には契約書、重要事項説明書の内容を十分説明し、理解・納得を図っている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者からの、不満・苦情は速やかに対処している。また、スタッフ会議等において話を行い対応の統一を図っている。日頃から、希望や意見がないか声掛けを行っている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に新聞を発行したり、家族会や面会時に、活動の様子や職員の異動を伝え、受診した際には、診察結果を報告している。毎月日用品等の請求明細を送付し、通帳預かりの方には、3か月毎に明細書を送付している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を開き、ご意見を聞いたり、話し合う機会を設けている。苦情受付の第3者委員を、玄関に明示している。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>企画管理委員会(月1回)、運営推進会議(1回/2ヶ月)を行い、意見や提案を聞いている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の状態変化により、職員の勤務変更を行い確保できている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合</p>	<p>利用者と職員の馴染みの関係を大事にし、職員の定期異動は、必要最小限度にしている。また職員も地元を多く配置している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内では、年1回全職員を対象に一泊研修を実施している。それぞれの職責ランクに応じた研修内容となっている。法人外では、老施協、県社協の研修等に積極的に参加している。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同郡内で組織する同業者会議や、研修会に出席しネットワークの構築に努めている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>困難事例へのスーパーバイズ、相談等組織としてのサポートが常にある環境を作っている。ストレス発散対策として、ビーチバレーやソフトボール等のスポーツを取り入れ職場外で汗を流している。</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>新人事制度を導入し運用している。各自が自らの力を発揮し、成長を実感できるよう支援し、また期待している。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>申し込みから、利用開始前には、面接を行い家族・本人より情報収集を行い、フェイスシート作成している。今回は、対象者なし。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>申し込みから、利用開始前には、面接を行い今までのサービス利用状況や経緯を開き、ケアに活かしている。今回は対象者なし。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	申し込みがあった場合には、本人の状態及び入居状況により、必要に応じ他のサービスを紹介している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と密に連絡報告を行いながら、生活援助を行っている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は食事や余暇時間を常に入居者の隣にて過ごすように、心掛けている。季節の行事や畑の事など、利用者から話を聞き学ぶことがある。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、本人の状態を報告・相談して居室の改善を行ったり、本人の不安な時には、家族に電話連絡して、安心できる様に支援の協力を依頼している。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時には、家族に笑顔を見せられるように努めている。行事、外出には家族の参加もあり、よい関係が築けている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	隣接した施設に出かけ、昔なじみの方々との関係が保てている。姪御さんのクリーニング店に行かれている方もいる。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合え	利用者同士の関係について、スタッフ会で情報を共有して、調整や世話役の方に話し相手をして頂く事もある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今回、対象者はいないが、以前の方で行事に参加された際、挨拶したり、交流できている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスによって、本人の情報を交換して、出来ることを伸ばせるように努めている。困難な場合には、家族に協力を得ている。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面会時に、本人が発した言葉などを伝え、家族より情報を得ている。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送り簿等に記録を残し、一人ひとりの生活リズムを把握し、支援できている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフ会議で介護計画を検討したり、日々の状態で介護計画に反映できる事柄を分かりやすく記録に残している。又、変更時には、家族への説明を行っている。		
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	退院後には、その時の状態に応じた計画をたてている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきは、他の職員にも口答で伝達し、申し送り簿や記録に残している。又、出勤時に確認している。	○	介護計画に沿った記録と、気づきの点を意識できるように今後、ケース記録の書き方について検討して行きたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携を生かして、ホームで点滴を行い、本人の負担を減らす為にも、早期退院を求めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによる舞踊慰問、詩吟教室等で生活を楽しまれている。地元の高校の体育祭、文化行事からの案内では、生徒の協力により楽しむ事ができ、今年から交流会を始めた。	○	今年度、高校生との交流会を開く事が出来、今後も続けていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理美容サービスを利用されている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところ行っていないが、必要と思われるときには、協力していきたい。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の他に、本人のかかりつけ医、送迎サービス付きの歯科受診、又、ご家族と協力し、病院へ情報提供できている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医による月1回の往診がある。町外の専門医療にかかられている方には、担当医に情報提供を行い、相談する事もある。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が、1名職員として配置されており、日常の健康管理や、状態の変化による受診には、速やかに対応している。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、本人の情報提供を行い、安心して過ごせる様に支援している。面会に出かけ、早期退院できる様に連携をとっている。家族とも回復状況を共有している。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応は、現在まで行っていないが、家族の意向は確認している。	○	加齢による身体機能の衰え、認知症状の進行による今後起こりえる状況を伝え家族と共に支援を考えていきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	法人内でターミナルケアの勉強会が行われ、今後に備えている。		
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えによるダメージを防ぐために、情報提供を行なっている。今年度、事例なし。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげない声かけにて、誘導行っている。今年は、コミュニケーションについての勉強会を行い意識向上に努めることが出来た。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に合わせた声かけをし、本人が選べる場面をつくっている。オセツ時には、飲み物を選んでもらっている。拒否されても、それを決めつけずに色んな働きかけを行っている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活の流れは、決まっていないが、利用者のペースに合わせて見守りながらケアしている。帰宅要求があれば、それに応じ、付き添いし、近所を歩いている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	起床、入浴後の身づくろい乳液を用意される方もいる。行事の際には、化粧したり、気分転換にマニキュアを塗ったりしている。本人行きつけの理容店に行かれている方もいる。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑から野菜を収穫したり、食事の準備、味見、片付けを一緒にしている。包丁が使えない方でも、テーブル拭きや野菜の下処理をされている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の希望があれば、食後のコーヒーを出している。食事がすすまない方には、好みのパンを提供する事もある。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間の習慣やサインを把握し、誘導している。排尿の少ない方や便秘ぎみの方には、職員間で意識し、水分補給行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員が一方向的に決めず、声かけしている。仲の良い方同士で一緒に入って頂くこともある。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個人にあわせて、日中の活動を促し、前夜不眠の方には、眠気がみられたら、寝具等準備し、休まれるよう促している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の力を発揮できる様、手伝いを依頼している。食事作りや畑仕事、梅干し、干し柿作り、利用者の経験や知恵を發揮できる場面をつくっている。気ばらしは、畑を見行ったり、散歩したりしている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の力に応じ、所持したお金を使える様、食材の買い物に同行して頂き、買い物の支援を行っている。家族の協力を得て、お金を持っている方、事務所で預かっている方もいる。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、本人の希望や気分により、散歩へ出かけている。併設施設のカフェやご主人の面会に出かけている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに	月2回のドライブ(阿蘇や天草)などに家族も参加され出かけた。法事の為、ふるさと訪問もかね出かけた。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	葉がきを書く様にすすめたが、書かれない。電話は、自らされることはないが、希望があれば、家族にかけている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族の都合のいい時間にいつでも面会できる様、配慮している。他の利用者に気がねなく過ごしてもらえる様、スペースをあけている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人で勉強会があり、職員の意識向上に努めている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関や居室に錠はかけていない。利用者が出かける時には、見守りや付き添いをしている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は常に利用者を把握し、職員間で申し送っている。夜勤帯は、起きられたらすぐに対応できる場所にて、一時間毎の巡回をおこなっている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	すべてを取り除くことなく、利用者の状況変化、ケースに応じた対応をしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットの検討と毎月のカンファレンスにより、事故防止に努めている。事故報告書には、職員の確認印を押し周知している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> <p>職員は、応急処置や初期対応について講習を受けている。緊急時の対応については、マニュアルを作成している。</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> <p>年2回防災訓練を行っている。地元消防団の日曜日の巡回と年末の夜警見回りが行われている。</p>		
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>利用者におこり得るリスクについて、ご家族に見てもらったり具体的に説明をしている。</p>	○	加齢による身体機能の衰え、認知症状の進行による今後起こりえる状況を伝え家族と共に支援を考えていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>毎日、午前中に健康チェック(検温、血圧、脈拍)を行い異常時には病院受診を行なっている。留意事項は、申し送り簿に記載し情報を共有している。排便については、その都度チェックして対応につなげている。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>入居者の服薬されている薬については、勉強会を実施して把握に努めている。服薬について一覧表を作成している。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>排便チェックを行い、便秘気味の方には、腹部マッサージ、水分摂取、散歩、体操を心がけ個人に合った下剤を使用している。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援</p> <p>毎食後、うがい、歯磨き誘導、義歯洗浄を行なっている。週2回洗浄剤による義歯の手入れを行なっている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	義歯が合わなくなった方には、キザミ食を提供している。水分摂取がスムーズに出来るように声かけ、湯飲みを持たせる等行なっている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを作成して取り組んでいる。職員は、出勤時に、手洗い、うがいを実施しチェックをしている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材チェックは納入業者と一緒に進んでいる。調理前には、入居者、職員ともに手洗いを実施している。調理機材は、日光消毒、ハイター消毒を行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門の前や玄関周りには、プランターに花を植え設置している。門扉は早出者出勤から、遅出者退勤まで開放している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共有空間があり、台所での調理の音を感じられたり、テラスや庭でお茶や食事を取り季節感を感じられるように努めている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フラットな畳の間や段差のある畳の間があり、お気に入りの場所で過ごされている。テラスにも、長椅子と一人用の椅子があり、それぞれ好みで使われている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族が面会時に、ゆっくりできるようにと和室を選ばれ座卓を持ち込まれたり、本人の好む花を飾られたり、家族手作りのパッチワークの敷物を持ち込まれたりしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	季節に応じ心地よい温度設定を行い、換気は、清掃時、起床時に窓を開けている。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は、バリアフリーで壁面には、手すりを設置している。ローラー付の椅子を利用し移動手段として活用している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人の残存能力に応じた声かけにより、食事づくりや床拭き、椅子拭き、洗濯物のハンガー外し、タオル干し等を行っている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節によっては、テラスや庭でお茶や食事をして過ごしている。建物周りは、入居者の散歩コースとして活用している。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者の状況の変化に、速やかに対応して、協力医療機関と連携があり、安心して暮らして頂けるホームである。入居者、家族、職員とも、馴染みの関係が出来、アットホームな雰囲気施設の施設である。木造平屋づくりの家屋で、広いコミュニティスペースがあり、テラスでは季節を感じられる。畑では、野菜の収穫も出来、ニワトリも飼っています。